

## 【2】 柚木地区はこんなまちです

柚木地区は、世帯数1,537世帯、人口4,794人(平成18年9月現在)で、佐世保市の北東部に位置し、3つの水源<sup>くもみね はってんだけ</sup>地を有し国見山系の雲峰八天岳の西斜面が広がる環境、人情ともに優れた町です。柚木地区のいわれは、猪<sup>いのしし</sup>がたくさんいたので猪の森の里、又は柚(ゆず)の木がたくさん生えていたので柚木と名付けられたともいわれています。

地区の成り立ちは、明暦2年(1656年)、柚木村庄屋<sup>しょうや</sup>が置かれ、明治22年、町村制実施で柚木村と里美村が合併し柚木村となり、昭和29年4月1日、柚木村は佐世保市に合併となりました。

柚木地区は、清流を活かした良質米の産地であり、また、野菜、花木、肉用牛等の生産が盛んな所でもあります。特に地域の特性を活かしたトマト、メロン、カーネーションの温室栽培は有名です。



カーネーションの温室栽培

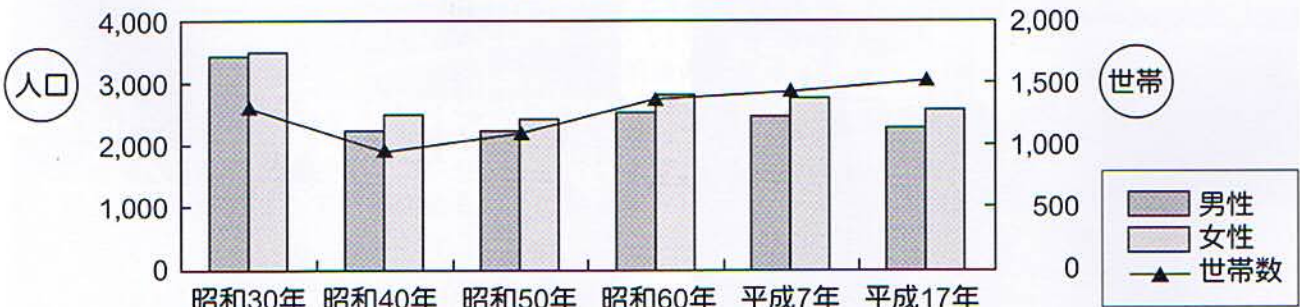


柚木よかもん市

柚木地区の人口推移(いずれも4月1日の統計資料)

	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年
男性(人)	3,451	2,240	2,228	2,530	2,448	2,250
女性(人)	3,480	2,468	2,414	2,796	2,728	2,563
世帯数(世帯)	1,300	957	1,091	1,373	1,433	1,532

柚木の人口・世帯数の推移



## 柚木地区“わがまち自慢”(地区の名所、行事など)

お茶の間トーク(P7~8)の「よかところ」から、その一部を紹介します。

### ◎自然が豊かで美しい

柚木地区は、東は国見山・八天岳を境として佐賀県と隣接しており、これらの山から流れる川には相当・川谷・転石の三つの水源があり佐世保市の水資源をまかなっています。自然環境に恵まれた農村地帯でもあります。



### ◎藤山神社の大フジ

国道498号線を藤山神社バス停で右折、そのまま進むと藤山神社の鳥居が見えます。境内には、神木オガタマの木に這い昇るようにして大ヤマフジの巨木が立っており、県の天然記念物に指定されています。幹の周囲は1.5m、立上り12m、長さ30mもあります。

藤山神社は「印山記」という平戸藩の記録に「山王山」の名で記されており、戦国時代からの歴史がある神社でもあります。明治4年(1871年)、神社名が山王宮から藤山神社に改められ明治7年、村社となりました。



### ◎西光寺

真言宗智山派の寺院西光寺の地は、古来虚空蔵菩薩の靈地でありました。開山盛行法印は平戸の安満岳の盛雅法印のもとで修行を積み、その後、この地に帰堂宇を建立しました。貞享4年(1687年)、平戸藩主・松浦棟が寺号が無いのを惜しみ、その時中絶していた佐々西光寺の本尊を虚空蔵堂へ移し、寺号も西光寺としました。

境内には、県指定のオオムラザクラ(樹齢250年)、市指定天然記念物の野田フジのほか、市指定史跡の八十八力所石仏群が立ち並び参道や日本庭園があります。



### ◎郷美谷県営溜池

上宇戸のバス停から左に市道をたどると相浦川の源流郷美谷池に着きます。郷美谷池は、江戸時代末期に灌漑用として建造されました。

県営事業として拡張工事が竣工したのは昭和17年で、貯水量40万立方メートルを誇る灌漑用の溜池です。



### ◎凧揚げ大会

柚木地区公民館活動の一環として、12月に凧作り教室を行い、2月に凧揚げをふれあいの森公園で行っています。

この日は、婦人部の協力で「豚汁」や「おにぎり」などがふるまわれ、大変喜ばれています。



いつまでも残したい自然と人情に溢れる街です。